

沖縄の働き盛り世代の 健康状態を知る

沖縄の働き盛り世代「10人中7人」が健診異常

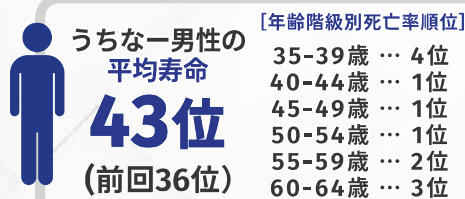
「有所見」とは、健康診断を受けた労働者のうち、何らかの異常が見られた人をいいます。沖縄県の有所見率は、前年より1.7ポイント悪化して72.1%となり、12年連続で全国ワースト1。全国平均58.3%に対し、その差は13.8ポイントに広がっている。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

沖縄県の平均寿命と「働き盛り世代」の死亡率（2020年調査）

平均寿命の後退、働き盛り世代の死亡率が全国より高い

5年毎に更新される、都道府県別の平均寿命と年齢階級別死亡率調査で、沖縄県の平均寿命は前回の調査から更に後退し、働き盛り世代といわれる35～64歳未満の死亡率も、男女ともに全国より高い調査結果が出ています。



働き盛り世代の健康問題
死因の上位は生活習慣病！
肥満の割合が高い！
アルコール摂取量が多い！
野菜・果物摂取量が少ない！

その原因は？

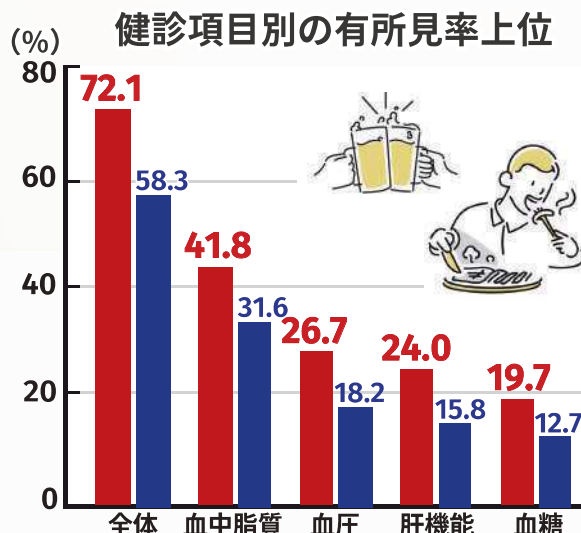
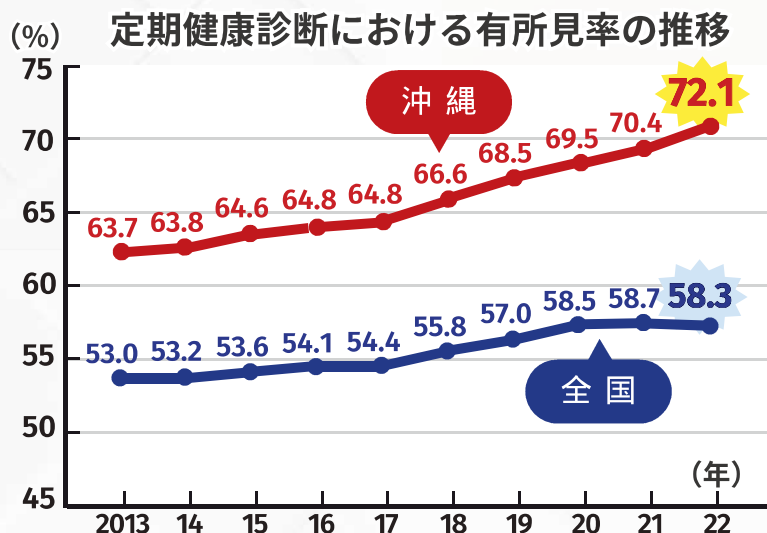
参考：健康おきなわ21（第3次）

「働き盛り世代」の健康状態 有所見率は 全国ワースト1

全国と比較して**13.8ポイント**も高い、沖縄の検診異常率。働き盛り世代の健康を改善するためには、事業場での社員の健康管理も必要となってきました。主な業種は有所見率の高い順に「製造業(79.7%)」「清掃・と畜業(78.4%)」「運輸交通業(74.9%)」となっています。社員の健康増進に企業が積極的に取り組み、健康経営運動の気運をさらに高めていくことが必要です。



健康診断で引っかかる人
10人中 7人



参考：2022年「定期健康診断結果報告書」（沖縄労働局）